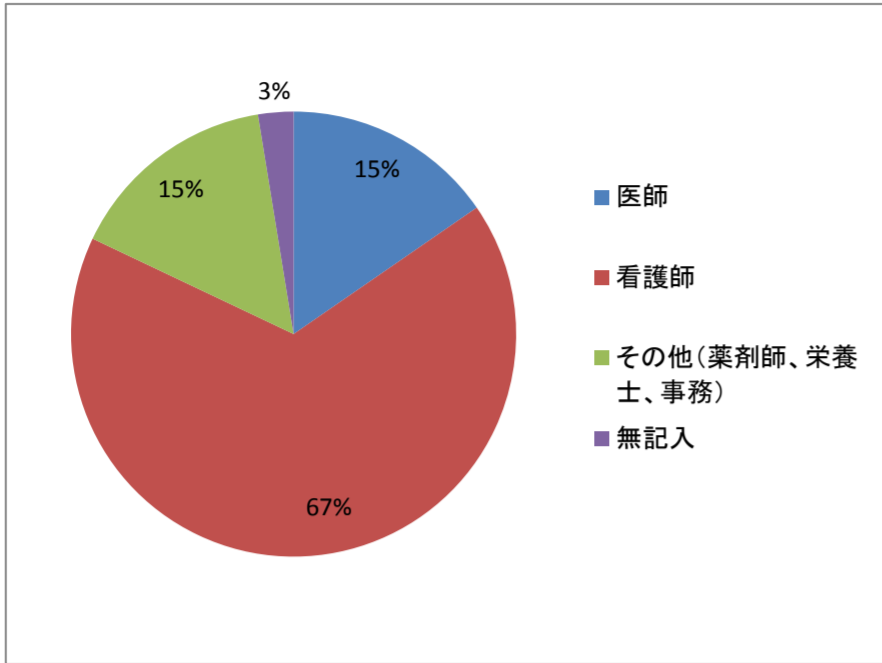


第1回 CVポート医療連携セミナーアンケート集計結果

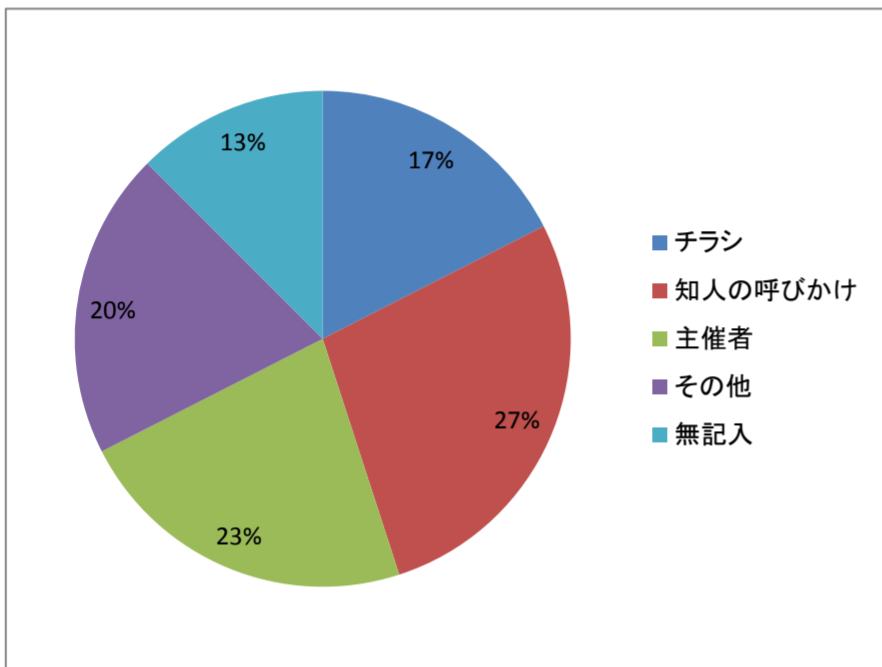
参加者51名 アンケート回収40名
 ※今回ご参加下さった方々の所属



医師	6
看護師	26
その他(薬剤師、栄養士、事務)	6
無記入	1

(名)

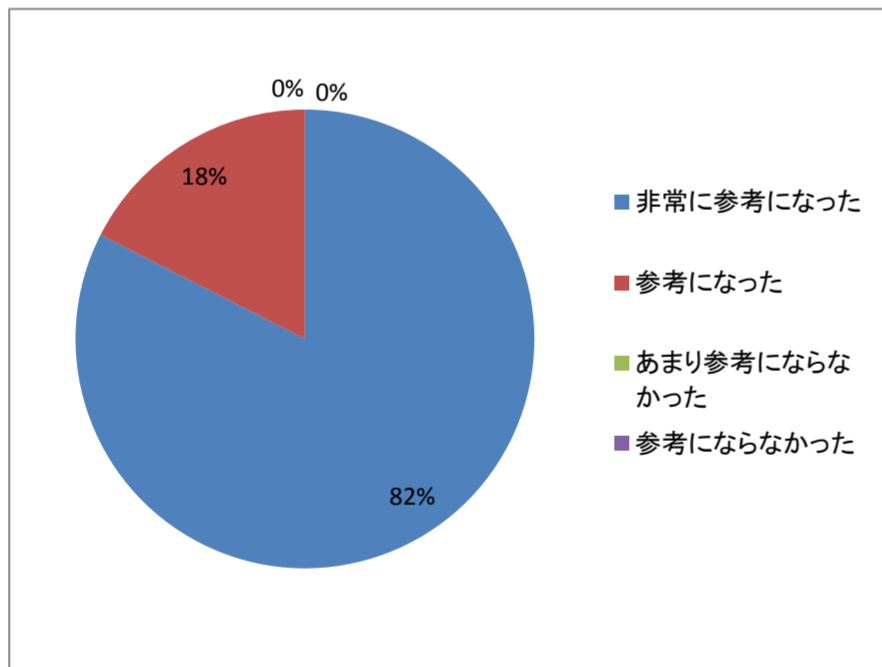
1. 今回の講演会をどこで知りましたか？



チラシ	7
知人の呼びかけ	11
主催者	9
その他	8
無記入	5

(名)

2. 『高齢化社会における地域包括NSTに求められる静脈栄養管理』の内容はいかがでしたか？



非常に参考になった	33
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

(名)

感想

栄養について一般の人たちにももっとアンテナはりめぐらせてほしいと思います。とても楽しく勉強になりました。特養のNrとして「食べることを止めない」「栄養状態を保つ」大切さを知りました。現場で生かしていきたいと思ひ、栄養管理の重要性について深く学べた。

私の考え方とすべて同じで心の支えになります。CVポートの挿入は水野先生にお願いしたいと思います。

QODという言葉を知れた。経腸栄養とCVで絨毛の長さや太さが変わることを知れた。

以前より経口摂取について気になっていました。

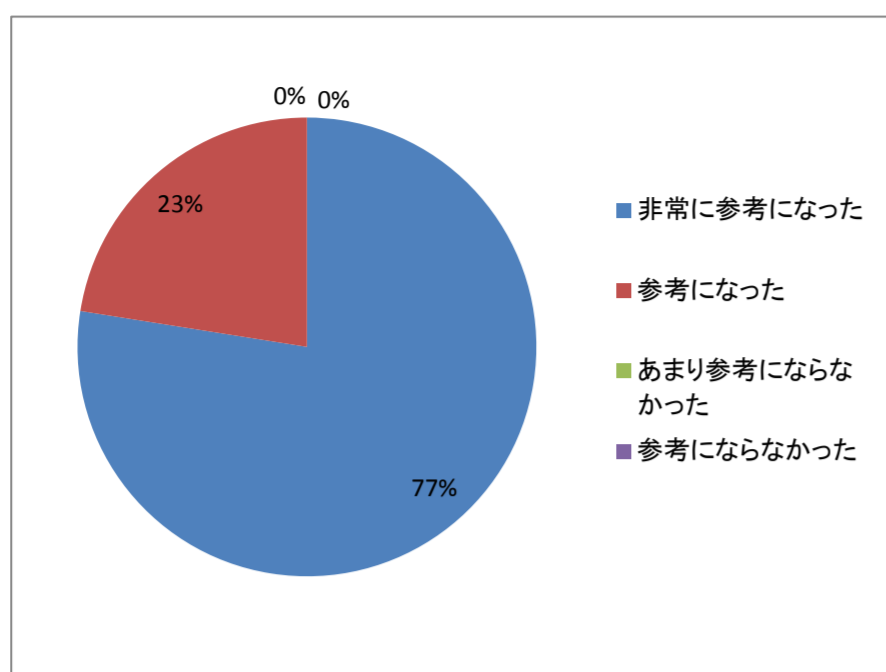
栄養の重要さがよくわかりました。精神科のため、一見健康面で問題のない患者様がいますが、栄養状態、食事摂取量まで観察したいです。

もっと勉強していきたいと思った。

フレイル状態やBMIの評価についてとても勉強になりました。

経管栄養→CVに頼りすぎてはいけないことがわかりました。

3、『CVポートで広がる医療連携、がん医療から慢性期医療まで』の内容はいかがでしたか？



非常に参考になった	31
参考になった	9
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
(名)	

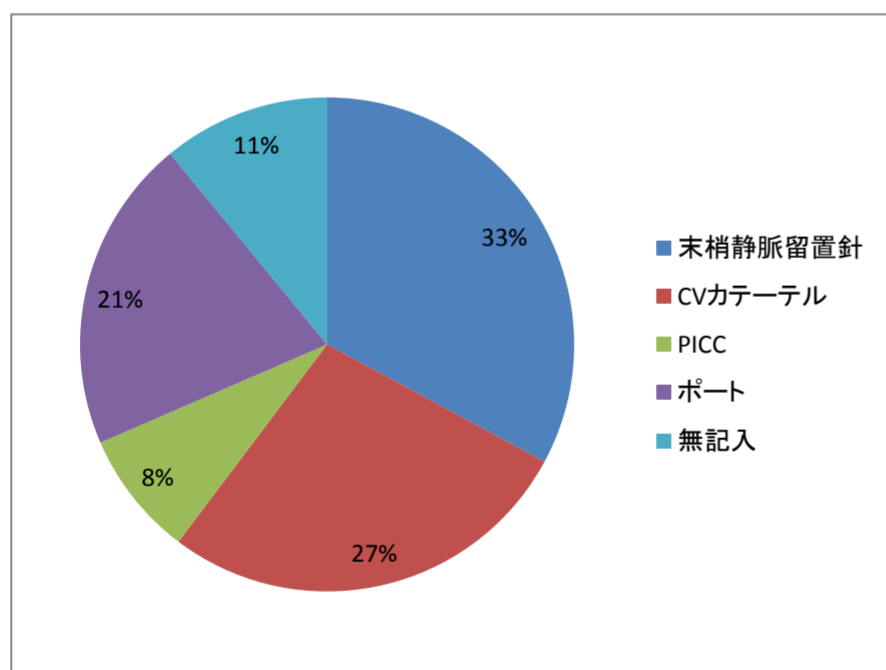
感想

環境を整えるには、人材ですね。それぞれの組織体がいかに経費をしぼり出し、先行投資できるかが、今後を左右するのかな・・・
 がん医療を始める前に、在宅やその方の生き方まで考えてポートや胃瘻についてそこまで考えて治療を家族と本人と考える
 がん患者におけるCVポートの重要性が理解できた。
 特養でのTPN導入に向けてとても参考になった。モチベーションが上がりました。
 ひとりひとりの患者さんがどうありたいかを基本として考えていくことの大切さを改めて考えていきたい。
 5～8%雪だるま型→動脈穿刺
 CVカテ、PICC、CVポートの留置可能期間を知ることができた。学校では、省略されているため。
 薬剤師ではなかなかさわることもないことが聞いて勉強になりました。
 CVポートの必要性が、今まで思っていたものと変わった。「CVポートを文化に」が進んでほしいと思いました。
 食べることの大切さや本人や家族が望むこと、そして、今必要なものは何かと考える大切さを学びました。
 ポートメインでなく食事(経口摂取)もファイ時であることが理解できた。
 血管アクセスデバイスの選択の意味、危険性、リスクと食べるためのポートという考え方。
 内容はもちろんですが、先生の情熱に感銘を受けました。

4、今後取り上げて欲しいテーマについて

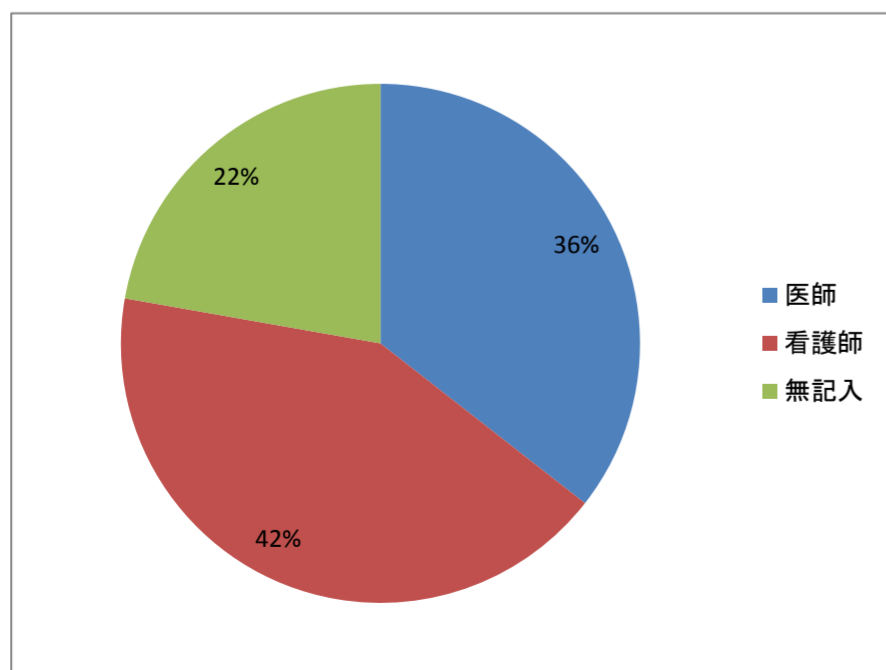
PICCの手技の詳しいところ(挿入のコツ)
 胃ろう管理について(トラブル対応)
 PICC
 CVポートの具体的留置方法、管理方法

5. 貴施設における輸液管理の使用状況についてお伺いします。
 ①現状、輸液管理は何をご使用されていますか？(複数回答可)



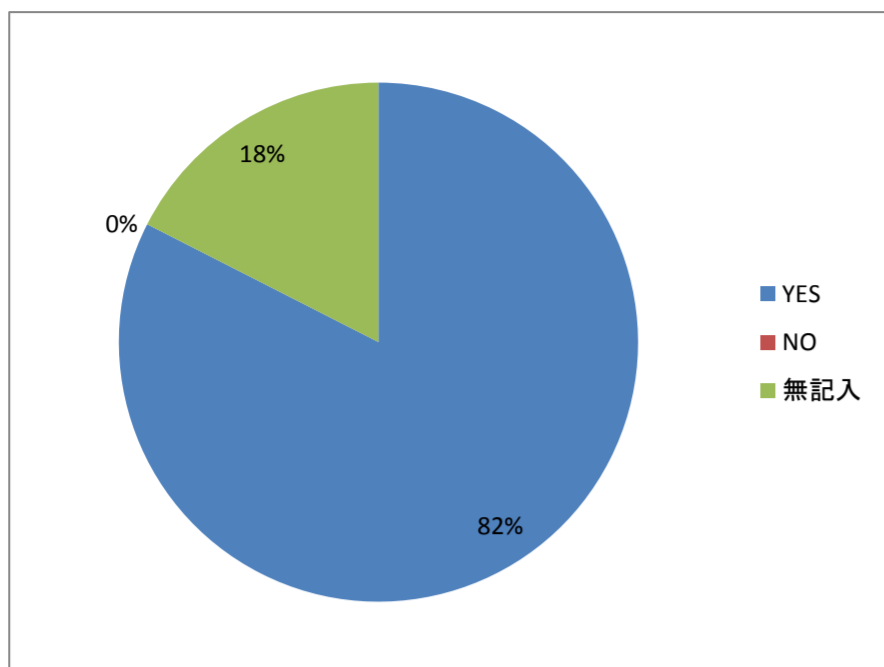
末梢静脈留置針	24
CVカテーテル	20
PICC	6
ポート	15
無記入	8

②ポートを穿刺する場合、どなたが穿刺しますか？



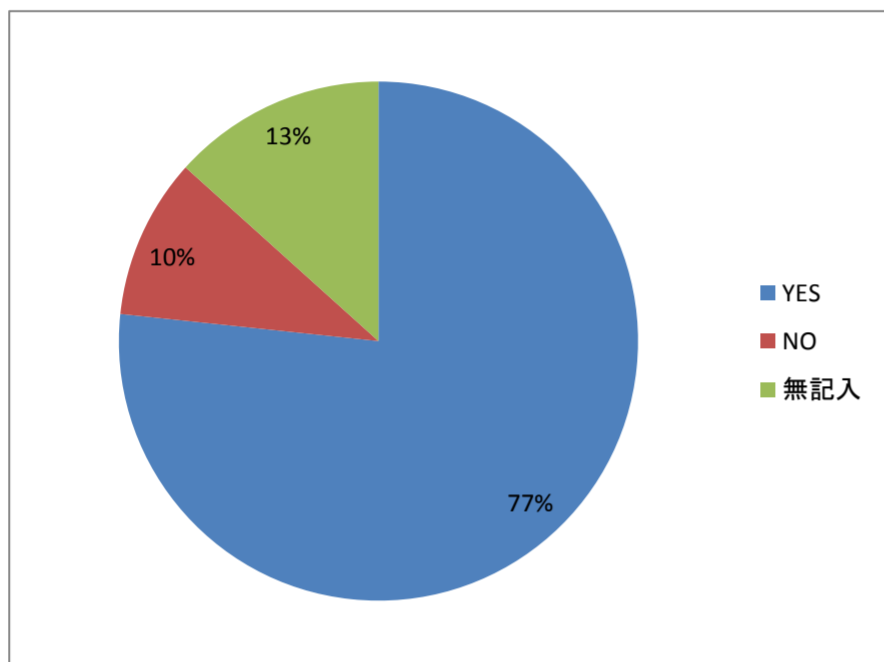
医師	16
看護師	19
無記入	10

③ PICCのケアを知りたいですか？



YES	33
NO	0
無記入	7

④ 輸液管理のために、ポートやPICCを挿入される御施設があれば依頼しますか？



YES	23
NO	3
無記入	4

6. ご意見、ご感想

お世話になりました。素敵な講師でとても勉強になります。
会費を払って出てもいい会です。

PICCについてもっと知りたい。

今日は、とてもいい勉強になりました。ありがとうございました。また他にもあれば参加したいと思います。

もう少し詳しくPICCのことが知りたいです。

経腸栄養についての知識が不足(私が)しているので、今回のようなテーマはありがたいです。胃ろうについて勉強したいと考えています。